

大分県立別府コンベンションセンター 将来ビジョン

施設の今後のあり方

**存続
(利活用)**

理由

- ① 県外からの来訪が見込まれる1万人規模の会議や学会、大会、コンサート、プロスポーツイベント等が開催可能な県内唯一の施設
- ② 大規模催事の開催を通じて地域経済に大きな波及効果を創出
- ③ 県民に優れた文化・スポーツに触れる機会を提供

目指すべき
施設像

県内の他施設での開催が難しい、県外からの来訪が見込まれる大規模な会議や学会、大会、展示会、コンサート、プロスポーツイベント等が開催され、地域経済に大きな波及効果をもたらす施設。また、そのような大規模催事を通じ、県民に対しても優れた文化・スポーツに触れる機会を提供する施設。

目指すべき
利用者像

本施設で開催される大規模催事に集い、宿泊や飲食、周辺地域の観光等を楽しむことで、地域経済に大きな波及効果をもたらす県外在住者。また、そのような大規模催事に参加する県民。

定量的目標
達成指標

- (H30~R2年度 3年平均値)
- ① 大規模催事開催件数の増 年50件以上 (20件)
※参加者数500人以上かつ九州大会以上の催事
 - ② 施設稼働率の増 年70%以上 (41%)
※上記①の達成が最優先

定性的目標
達成指標

- ① ハイレベルな国際会議等を開催するため、誘致活動を実施
- ② 利用者及び主催者の満足度を向上させるため、アンケートなどで寄せられた意見をもとに施設の機能充実やサービス向上の取組を実施

主な課題と解決策

【課題】

- ① 本施設が大規模催事の会場として選ばれ続けるには、コロナ禍における催事の開催方法の変化（密回避、リモート開催等）への対応はもちろん、利用者ニーズの変容を的確に捉え、老朽化が進む設備・機器を適宜適切に更新していく必要がある。
- ② 人口減少によって国内催事の開催件数及び参加者数が減少し、大規模催事の開催に伴う地域経済への波及効果が縮小することが懸念される。

【解決策】

- ① 感染症対策に必要なサーモグラフィ等の整備を行うとともに、指定管理者に対して万全の受入体制の確保を求める。大規模修繕を計画的に実施し、指定管理者による積極的な予防修繕を通じた安全性の確保と設備・機器の長寿命化に努める。利用者及び主催者向けアンケートの実施・回収に力を注ぎ、寄せられる意見を施設の機能充実やサービス向上に可能な限り反映する。
- ② 国外からの来訪が見込まれる国際会議や、地域経済への波及効果が高い参加者が見込まれる催事をより積極的に誘致するとともに、そういった会議の開催に必要なWeb等の活用も含め機器や設備の新設・更新を進める。